

インフルエンザの発生状況(富山県)

【第 13 週 (2026/3/23~3/29) 感染症発生動向調査速報値 (2026/4/1 時点)】

定点医療機関※新規患者報告数： **658** 人、定点医療機関当たり **14.00** 人

※急性呼吸器感染症定点 (旧インフルエンザ/COVID-19定点、小児科28定点、内科19定点)

図1. 患者報告数の推移(富山県)

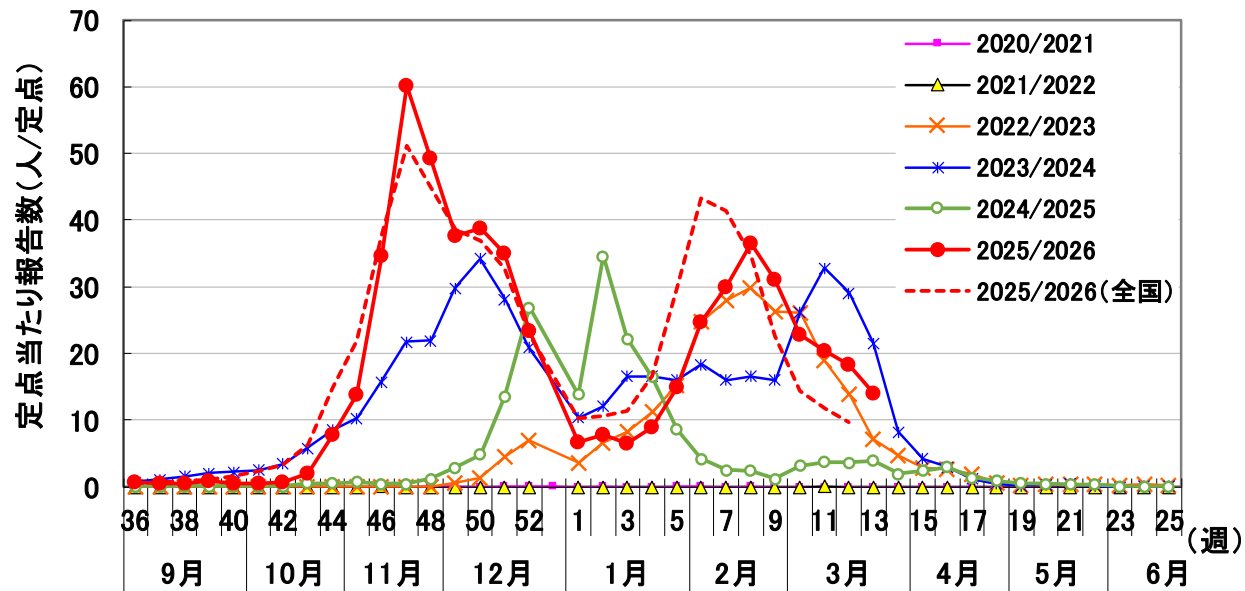
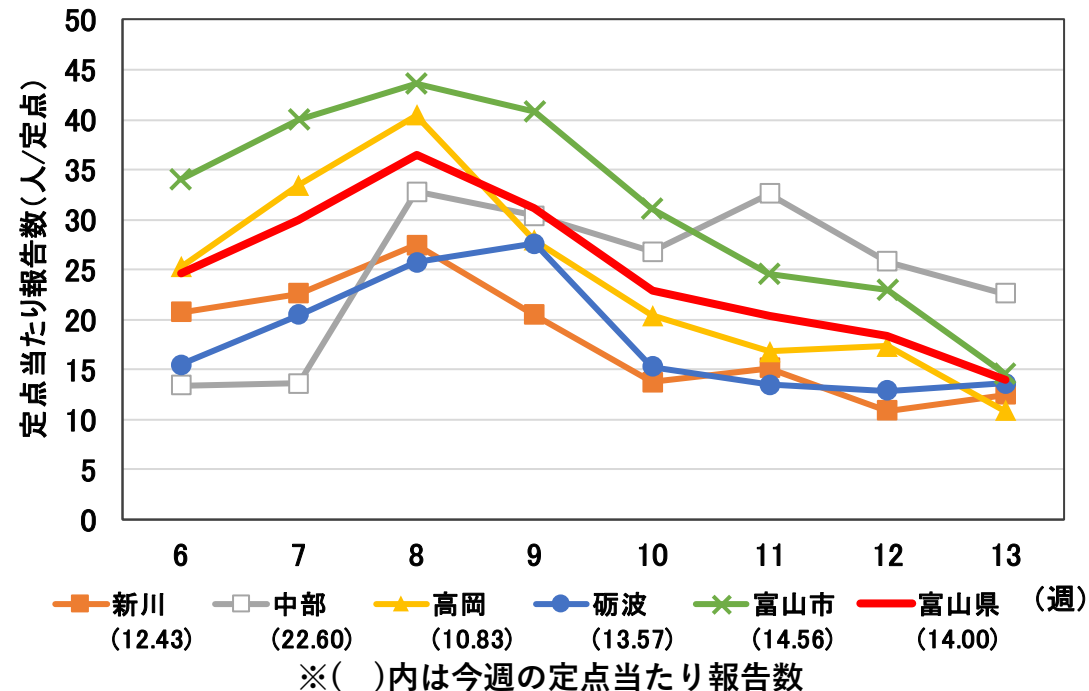
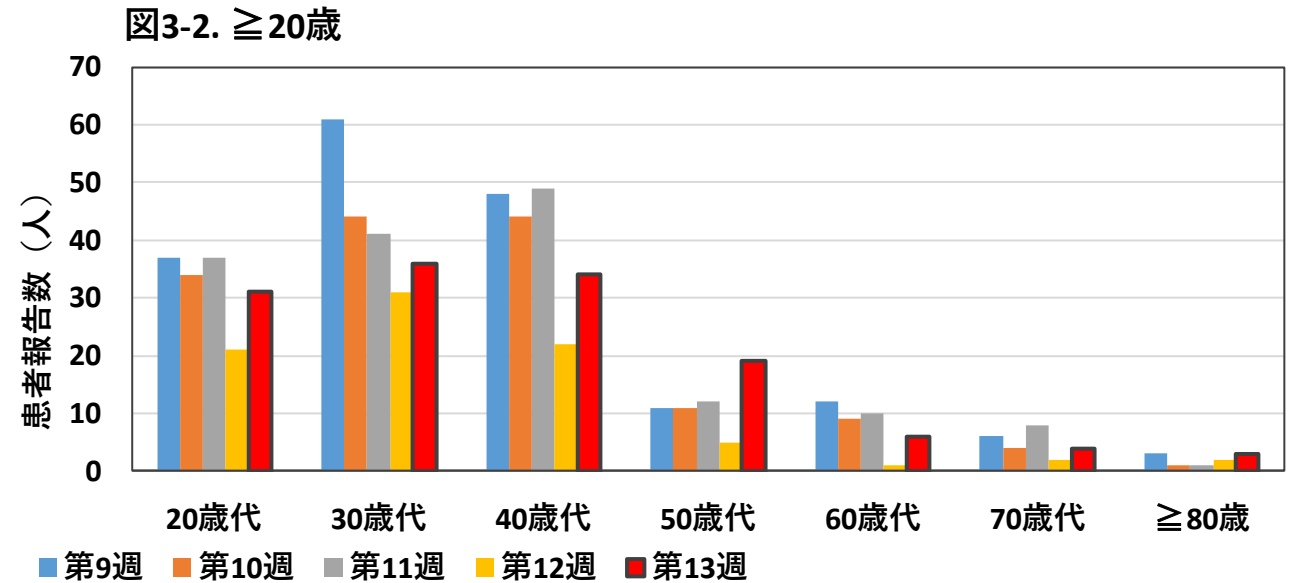
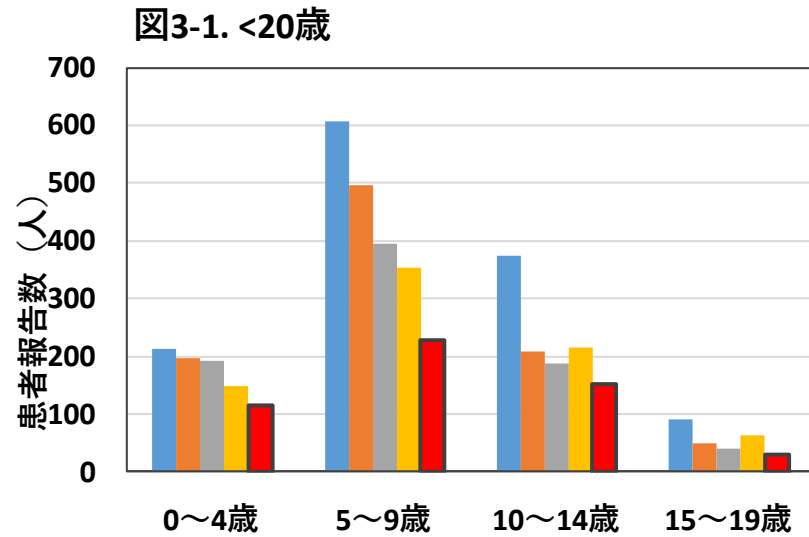


図2. 厚生センター・保健所管内別患者報告数の推移



- 富山県の患者報告数は今週14.00人/定点となり、先週 (18.38人/定点) から減少した (図1)。
- 厚生センター・保健所管内別に見ると、中部、高岡、富山市管内では先週から減少した。一方、新川、砺波管内ではやや増加した (図2)。

図3. 年齢階級別インフルエンザ報告数の推移（富山県）



※定点医療機関は小児科が多い（小児科：28定点、内科：19定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

- 20歳未満で先週から減少した一方、20歳以上では先週から増加した。

図4. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第12週)

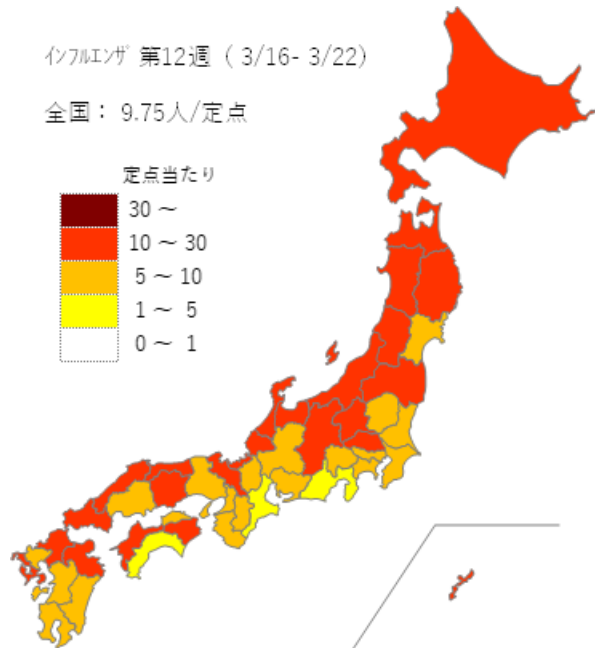


図5. インフルエンザ入院サーベイランス

患者報告数の推移 (富山県)

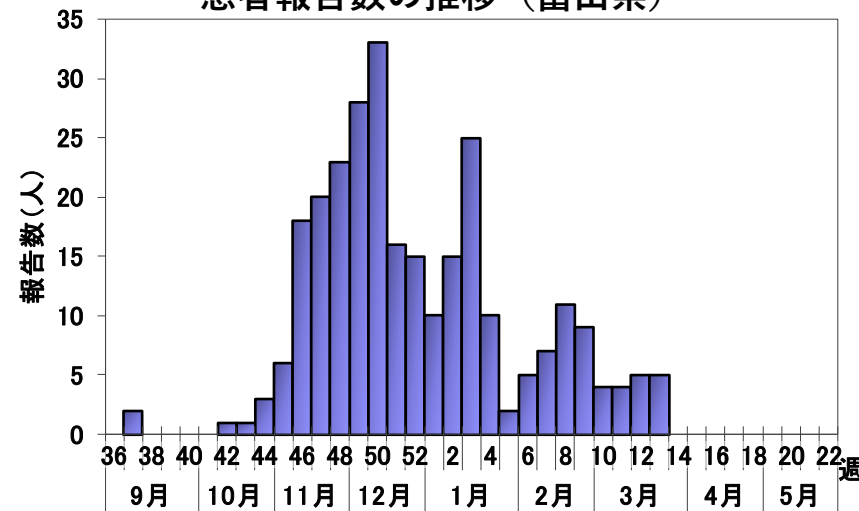
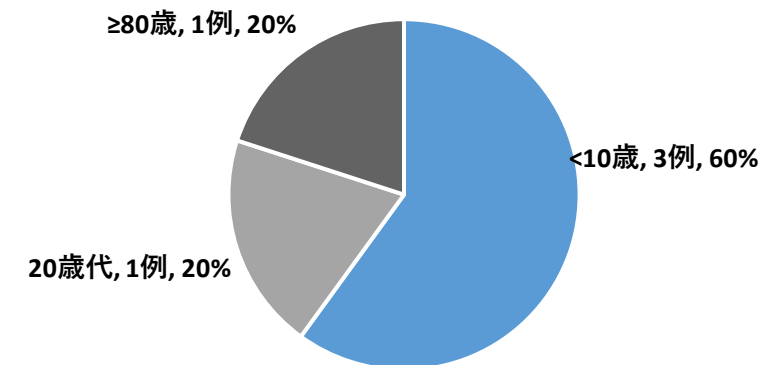


図6. インフルエンザ入院サーベイランス

年代分布 (第13週、5例)



- 全国では第12週に9.75人/定点となり、第11週 (11.66) から減少した。都道府県別では、24道府県で警報レベルの終息基準である10.0人/定点を超えている (図4)。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランスでは、今週5例の報告があり、先週 (5例) と同数であった (図5)。
- 入院患者の年代は、10歳未満が3例、20歳代、80歳以上が各1例であった (図6)。
- 第13週はインフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の報告はなかった ([富山県インフルエンザ関連情報](#))。
- 県内の患者報告数は減少傾向であった。年齢別にみると20歳未満で減少傾向が継続する一方、20歳以上の報告数は今週増加した。B型の検出割合は89.8% (第12週89.7%) と依然多くを占めていた ([富山県感染症発生動向速報2026年第13週](#))。引き続き発生動向を注視する必要がある。